

# 信濃美術館の基本設計にかかる 「県民リレー・ワークショップ」(東信地域)の意見概要

日 時：平成 29 年 9 月 2 日 (土) 午後 3 時から 5 時 20 分

場 所：上田駅前ビル パレオ 2 階会議室

出席者：(株)プランツアソシエイツ 代表取締役 宮崎浩氏、副所長 吉満聡氏  
松本透信濃美術館整備担当参与、日向信濃美術館整備室長、塩入施設課企画幹

参加者：30 名

概 要

[主な意見等] (アンケートへの回答含む。)

## 【県民リレー・ワークショップ】

- 設計者の宮崎さんと館長予定者の松本さんの話が直接聞けてよかった。
- 設計者の考え方がよく分かった。すばらしい美術館ができそうで今から楽しみ。
- 県民の意見を設計者が聞いてくれたことが非常によかった。
- 意見が今後の設計に活かされる場となった感じがした。

## 【全般】

- 県内外の人が訪れる美術館にしてほしい。
- 長野らしい特色のある何度も行きたくなる美術館になるとよい。
- 仕事帰りに気軽に立ち寄れる美術館がよい。
- 善光寺の帰りに立ち寄ってコーヒーを飲む。気軽に行ける美術館にしたい。
- 飲食など美術以外の目的で立ち寄れる美術館がよい。
- 敷居の低い美術館に賛成である。
- 全ての人々が安心して楽しめる、交流できる空間にワクワクしている。
- 県立美術館として美術品をしっかりと守り、文化芸術のあふれる県にしてほしい。
- 美術館を含む城山公園は普段閑散としていることが多い。多くの観光客が訪れる善光寺界隈の人々が「つながる」美術館として呼び込み、賑わいを生み出すことができる美術館にしてほしい。
- 開館時期は守ってほしい。

## 【設計関連】

- 豊かな気分になる美術館や周りの景観にしてほしい。
- 長野県の特徴を活かした木の多い風景がよい。
- 屋外への木の配置は、育った将来の大きさを考慮してほしい。
- 長野市の気候風土、特に冬の城山公園周辺の気候を理解した上で設計してほしい。  
冬の美術館をイメージしながら計画してほしい。
- 地下にスロープをつくって行き来する美術館は考えられないか。
- 善光寺を遠景に取り込むために展望広場を設けるとのことですが、このために建物メインの軸と平行な南側道路のラインを無理してずらしている。善光寺の遠景がそれほど大切とは思えない。リスクのほうが大きいのではないか。（軸がずれることによる無駄なペース、屋上広場の積雪、防水の心配、東側道路から歩いて建物に入る人は少ない など）
- 県民の交通機関の利用状況を考えると自家用車で長野に行く人が多いことから駐車場が狭いのは不便である。特に家族連れを大切にしてほしい。
- 障がい者、家族連れの駐車場はエントランス付近に必要である。
- 高齢者はたくさんの作品を観てまわると疲れる。休みながら鑑賞できる配慮がほしい。
- 誰でも使いやすいユニバーサル・デザインにしてほしい。
- 障がいの種別に関わらず、絵や彫刻を鑑賞できるように配慮してほしい。
- エレベーターだけでなく、エスカレーターもほしい。
- 次世代育成事業を全県に展開していく拠点施設をつくってほしい。
- 美術館に100人くらいの人が気軽に来てコンサートが聴けるとよい。コンサートの休憩時間などに作品を鑑賞するのは雰囲気よい。
- 様々なことに対応できる建物にしてほしい。映像表現ができる部屋も必要である。
- 時代とともに価値が変わる。展示室はできるだけ制約のない、新しい技術にも対応できるフレキシブルなものがよい。
- 照明などにより、観覧者がガラスケースに映り込むことがないようにしてほしい。
- 今後の作品収集を考えた場合、計画している収蔵庫の広さで足りるのか。
- バックヤードツアーで収蔵庫を見学する場合、見学通路を確保してほしい。また、修復を行う部屋が見学できるとよい。

- 県民ギャラリーのバックヤードの充実をお願いしたい。
- 長期間存在する建物になるので、雨漏りなどが起こらないようにしてほしい。
- 長野県は空気がきれい。美術館は難しいのは分かるが、外の空気を取り入れるシステムを導入できるとよい。
- 県産材の活用は木材だけではない。県内では、柴石、佐久石、浅間の焼石、諏訪の鉄平石などの自然石が採れる。地域の石の活用を検討してほしい。
- 今後新しい技術が進化していくと思うが、将来的に新しい技術を取り入れることを配慮して設計することは可能か。

#### **【運営関連】**

- 展示を観ながら互いの感想を話し合うことが許容される美術館にしてほしい。
- 監視されながらの絵画鑑賞は嫌である。
- 模写や授業、絵画教室などで県民の文化度を高めてほしい。
- ICTを活用し、来館者が前を通ると作品解説やトイレの場所などを知らせるようにできないか。ICTで来館者へのホスピタリティを補助できるとよい。
- 個別受信機でイヤホンから作品解説が流れる音声ガイドがほしい。
- おしゃれなカフェ、レストランが必要。おいしい食事ができる美術館は魅力的。

(以上)